

基礎 分野					令和7年度
授業科目名	論理学				
講師名	山根 輝夫			実務経験	—
単位数	1 単位	授業回数	15 回	時間数	30 時間
履修年度	2025 年度	学年	1 年次	履修期	前期
学習目的	物事を論理的に施行し、客観的に評価できるものの見方・考え方・表現力を養う。				
到達目標	課題レポートや論文作成のための文章構成方法を身につける。				
学習スケジュール				課題・小テスト・使用機材等	授業方法
1	倫理的な思考: 3つのレポートの比較検討、レポートの基本的な決まり				講義
2	論証の6要素: 主張を論理的に書くための構成要素 起承転結: 伝えたいことのストーリー化				講義
3	改善が必要な文章: 意味がはっきりしない文、話し言葉の文、ねじれ文				講義
4	構文技術①: 語順の原則				講義
5	構文技術②: 点の二大原則				講義
6	パラグラフライティング3原則: パラグラフライティング3原則とは パラグラフの書き方と盛り込む内容				講義
7	事実と意見: 区別の仕方、書き方、引用				講義
8	接続詞の有効な使い方			問題文の演習	講義
9	演習課題レポートの作成: 【テーマ】世界で問題視される『ネットいじめ』			演習レポート	講義
10	グループ討論: 課題レポートについて討議、自己評価、解決策の提案				講義・グループ
11	論理的な読解・要約法: 方法論、演習問題			演習問題	講義
12	クリティカルシンキング① 要約文の作成: 新聞記事の要約				講義
13	根拠・推論の評価			練習問題	講義
14	クリティカルシンキング②: ピラミッドストラクチャー				講義
15	テスト				
教科書	山根輝夫著: 『レトリックのすすめ』				
参考書・資料等	プリント・資料 (必要に応じて配布)				
評価指標	出席状況、課題提出状況(量・内容等)、授業への積極的参加、筆記試験(100点満点)				
関連科目					
学生へのメッセージ	文章を正しく読み解いて理解する力は、資料を読み解いたり、相手の言葉から真意をくみ取るなど、社会でも必要なスキルです。楽しく学ぼう。				

基礎 分野					令和7年度	
授業科目名	情報literacy					
講師名	石川 麻理子			実務経験	—	
単位数	42.5	授業回数	15 回	時間数	30 時間	
履修年度	2025 年度	学年	1 年次	履修期	前期	
学習目的	日常生活における情報の収集・処理する能力を身につける。 情報を統計的に処理する能力を習得し、コンピューターの機能と特性を理解して基本的操作能力を養う。 情報社会においてのモラルを身につける。					
到達目標	現場で活用できるパソコン実務					
学習スケジュール				課題・小テスト・使用機材等	授業方法	
1	情報モラルとセキュリティ 医療従事における情報モラルとセキュリティ				講義	
2	情報モラルとWord① 知的財産権 文章作成1				講義	
3	情報モラルとWord② 文書作成 編集2				講義	
4	情報モラルとWord③ 表作成と図形				講義	
5	情報モラルと Windows 図形応用 地図作成				講義	
6	Excel 基礎 シート利用と基礎関数①				講義	
7	Excel 基礎関数②				講義	
8	Excel グラフ作成①				講義	
9	Excel グラフ作成②				講義	
10	Excel 確認テスト			確認テスト	講義	
11	パワーポイント 基礎 ～ 活用				講義	
12	テスト対策① Word、Excel確認				講義	
13	テスト対策② 基礎知識確認				講義	
14	テスト対策③ 基礎知識確認				講義	
15	テスト					
教科書	系統看護学講座 看護情報学 : 医学書院 基礎からはじまる情報リテラシー : 実教出版					
参考書・資料等						
評価指標	出席状況、技術演習、課題提出状況(量・内容等)、授業への積極的参加、筆記試験(100点満点)					
関連科目						
学生へのメッセージ	実務で活用するパソコン操作を目標としています。パソコンの基礎から活用までを習得していきます。					

基礎 分野					令和7年度
授業科目名	生活科学				
講師名	久保 房子			実務経験	講師
単位数	1 単位	授業回数	15 回	時間数	30 時間
履修年度	2025 年度	学年	1 年次	履修期	前期
学習目的	人間生活の価値の多様性を学び、人間らしい豊かな生活が送れるように基礎的な知識を習得する。				
到達目標					
学習スケジュール				課題・小テスト・使用機材等	授業方法
1	生活科学 日本の環境と生活 導入:なぜ学ぶのか ガイダンス 序章 1章 環境が生活に与える影響				講義
2	生活科学 日本の環境と生活 四季による影響 水害について				講義 グループワーク
3	生活科学 日本の環境と生活 四季による影響 水害について				講義 グループワーク
4	発表用資料作成				講義 グループワーク
5	発表会 質疑応答				発表会 (各グループ毎)
6	災害 環境破壊				講義 グループワーク
7	環境汚染について①				講義 グループワーク
8	環境汚染について②				講義 グループワーク
9	まとめ				講義
10	発表会 質疑応答				発表会 (各グループ毎)
11	生活環境 住まいと住環境				講義
12	療養をするのに良い環境、悪い環境①				講義 グループワーク
13	療養をするのに良い環境、悪い環境②				講義 グループワーク
14	発表会 質疑応答				発表会 (各グループ毎)
15	テスト				
教科書	生活科学 :オーム社				
参考書・資料等					
評価指標	出席状況、課題提出状況(量・内容等)、授業への積極的参加、筆記試験(100点)				
関連科目					
学生への メッセージ					

基礎 分野					令和7年度	
授業科目名	未来教育学					
講師名	村井 輝久			実務経験	大学講師	
単位数	1 単位	授業回数	15 回	時間数	30 時間	
履修年度	2025 年度	学年	1 年次	履修期	前期	
学習目的	人間の成長発達における教育の果たす役割について、基本的な理解を培う。 教育における文化(教材)、集団との関りについて理解を深め、自己教育力を高めることができるようにする。					
到達目標	・社会における教育の意義と機能、また課題を説明することができる。 ・看護と教育の関係について説明することができる。					
学習スケジュール				課題・小テスト・使用機材等	授業方法	
1	オリエンテーション 授業の概要、評価の方法、教育学を学ぶ理由			パソコン、スライド	講義	
2	日本ではどのような子育てが行われてきたか？ 産育・子育て習俗、通過儀礼、若者組とそれを支えた社会状況			パソコン、スライド	講義	
3	教育とは何か？ 教育の理念、近代教育			パソコン、スライド	講義	
4	学校とは何か？ 社会の複雑化、近代学校の誕生			パソコン、スライド	講義	
5	学校は、子どもたちを学習へと動機づけることができるか？ 学校-企業の神話、社会変動、終わりなき日常			パソコン、スライド	講義	
6	学びとは何か？ 学びの特質、自己と他者の関係性			パソコン、スライド	講義	
7	院内学級の意義と課題は何か？ 特別支援教育、ケア、看護と教育の連携およびその課題			パソコン、スライド	講義	
8	「障害」は「個性」か？ 障害個性論、個人モデル、社会モデル			パソコン、スライド	講義	
9	自律とは何か？ 近代的個人、自律と依存			パソコン、スライド	講義	
10	ChatGPT を活用するときの注意点は何か？ 人工知能、生成AI、生成された文章の特徴			パソコン、スライド	講義	
11	人間と人工知能はどこまで同じか？ 人間と人工知能のそれぞれの学習の特徴			パソコン、スライド	講義	
12	人間の拡張はどこまで許されるのか？ 人間拡張の種類、優生学、新しい優生学			パソコン、スライド	講義	
13	「大人になる」とはどういうことか？ 近代以前と近代以降の社会、一人前、半人前			パソコン、スライド	講義	
14	専門職に求められるものは何か？ 専門性、専門職性、省察			パソコン、スライド	講義	
15	テスト					
教科書	系統看護学講座 基礎分野 教育学 :医学書院					
参考書・資料等	講義では、教科書以外にも講義資料を配付します。					
評価指標	出席状況、課題提出状況(量・内容等)、授業への積極的参加、筆記試験(100点)					
関連科目						
学生へのメッセージ	学問は、「問うこと」から始まります。皆さんには、この授業を通して、多くのことを問い、考えていただきたいと思います。					

基礎 分野					令和7年度	
授業科目名	レクリエーション論					
講師名	森川 澄子			実務経験	講師	
単位数	1 単位	授業回数	15 回	時間数	30 時間	
履修年度	2025 年度	学年	1 年次	履修期	前期	
学習目的	心の動きと身体の動きとの相関について基本を理解する。 健全な心身の向上を図るために、個人や集団に対しての支援の方法を学ぶ。					
到達目標	人はどのような時に楽しさを感じるのか、その楽しさがどのように心を元気にして、気持ちや行動に変化をおこすのかなど、人々の心の元気づくりを支える方法や技術を習得する。 (レクリエーションという言葉の主旨を「心の元気にすること」と定義)					
学習スケジュール				課題・小テスト・使用機材等	授業方法	
1	レクリエーションとは				講義・実技	
2	レクリエーションの基本的な理解 楽しさと元気づくりの理論、アイスブレイキングとは				講義・実技	
3	コミュニケーションワーク① ホスピタリティとは(信頼づくりの方法・関りのコミュニケーションワーク)				講義・実技	
4	コミュニケーションワーク② ホスピタリティの示し方(気持ちをひとつにするコミュニケーション)				講義・実技	
5	レクリエーション種目の実際① 障害者スポーツとは				講義・実技	
6	レクリエーション種目の実際② 創作・クラフト 作って遊ぶ				講義・実技	
7	レクリエーション種目の実際③ 様々な遊び体験				講義・実技	
8	レクリエーション種目の実際④ 様々な遊び体験				講義・実技	
9	余暇生活設計 ライフスタイルとレクリエーション 余暇生活 幼児期の余暇他				講義・実技	
10	福祉レクリエーションとは 福祉現場でのレクリエーション セラピューテック・レクリエーション				講義・実技	
11	目的に合わせたレクワーク 自主的、主体的に楽しむ力を育むレク活動展開 レクリエーションのアレンジ				講義・実技	
12	レク活動の実際① スポーツ・レクリエーション ポッチャ ラダーゲッター サークルビンゴ 他				講義・実技	
13	レク活動の実際② スポーツ・レクリエーション ポッチャ ラダーゲッター サークルビンゴ 他				講義・実技	
14	レクリエーションの意義と目的、必要性 まとめ 福祉レクリエーションについて				講義・実技	
15	テスト					
教科書	なし					
参考書・資料等	必要に応じてプリント配布					
評価指標	出席状況、課題提出状況(量・内容等)、授業への積極的参加、筆記試験(100点)					
関連科目						
学生へのメッセージ	人との関わりに欠かせないコミュニケーションスキルを高めるために、様々な活動をとおして、理解を深めてください。					

基礎 分野				令和 7 年度	
授業科目名	人間関係論				
講師名	森 千住子			実務経験	講師
単位数	1 単位	授業回数	15 回	時間数	30 時間
履修年度	2025 年度	学年	1 年次	履修期	前期
学習目的	医療に携わるものとしての資質の向上を目指す。 家庭、学校、社会に展開される人間関係を主題とし、人間としての生き方を考慮し、主として看護に関連している問題を広く考察する。				
到達目標	・カウンセリングを活かしたコミュニケーションの意義について学ぶ。 ・「看護ふれあい学」を通して現場で活かせるコミュニケーションの意義を理解し、実践につなげる。				
学習スケジュール				課題・小テスト・使用機材等	授業方法
1	心理学と臨床心理学の成り立ち(カウンセリングの歴史・理論)			パワーポイント	講義
2	健康・医療心理学(知識インプット)			パワーポイント	講義
3	心の健康・ストレスとコーピング			パワーポイント・小テスト	講義・演習
4	人間関係基礎・より良い人間関係の構築(他者との信頼関係の形成)			パワーポイント	講義
5	看護におけるコミュニケーションの目標 (人間関係を築くための基礎的なコミュニケーションスキル)			パワーポイント	演習
6	行動理論・問題所有の原則(患者の問題・サインをキャッチする)			パワーポイント	講義・演習
7	人間関係はカウンセリングの本質である (他者理解・自己理解・援助的コミュニケーションスキル)傾聴技法			パワーポイント	講義・演習
8	コミュニケーションを阻む対応パターン(12 の障害)について				講義・演習
9	率直な自己表現(自己開示)アサーションについて				講義・演習
10	問題なし領域で患者に送る(わたしメッセージ)・(環境改善)				講義・演習
11	相手の権利や欲求を侵害せず、自分の感情・欲求・考えを表明する(欲求の対立)				講義・演習
12	アサーティブな問題解決法(能動的な聞き方の切り替えの重要性)				講義・演習
13	問題解決の場面でアサーティブに、価値観の対立をどう解決するか				講義・演習
14	死と向き合う患者への対応				講義
15	テスト				
教科書	看護に活かすカウンセリング :ナカニシヤ出版 系統看護学講座 基礎分野 人間関係論 :医学書院 具体例で学ぶコミュニケーション訓練看護ふれあい講座 :照林社				
参考書・資料等	必要に応じてプリント配布				
評価指標	出席状況、課題提出状況(量・内容等)、授業への積極的参加、筆記試験				
関連科目					
学生へのメッセージ	授業中に行う実習の成果(ミニレポート・実習提出指示)				

基礎 分野				令和7年度	
授業科目名	発達心理学				
講師名	梅津 直子			実務経験	講師
単位数	1 単位	授業回数	15 回	時間数	30 時間
履修年度	2025 年度	学年	1 年次	履修期	前期
学習目的	人の各発達段階における心理的特徴と課題について学ぶ。 各発達段階や課題の行動様式の差について理解する。 発達の諸側面に及ぼす生物学的・心理的社会的要因について理解する。 心理学的知見を看護場面に応用する方法を学ぶ。				
到達目標	人間の発達について基礎的な知識を身につけて、その人の心や体に寄り添った看護にあたれるようになること。				
学習スケジュール				課題・小テスト・使用機材等	授業方法
1	オリエンテーション 発達の基礎理論 発達心理学とは 発達段階、発達課題、遺伝と環境			課題:ワーク提出 プロジェクター使用	講義
2	胎児期の発達と新生児期の発達 胎児期の特徴と発達リスク、胎児の運動、知覚の発達、生理的早産、新生児の運動と知覚発達			課題:ワーク提出 プロジェクター使用	講義
3	乳児期の発達① ベビーシュマと生理的微笑、乳児期の身体発達、発達の原理、乳児の認知発達(感覚運動期)、乳児期の近く発達、言語発達			課題:ワーク提出 プロジェクター使用	講義
4	乳児期の発達② 乳児期の社会性の発達、愛着理論とその発達、形成要因、乳児期のコミュニケーションの発達			課題:ワーク提出 プロジェクター使用	講義
5	幼児期の発達① 幼児期の身体・運動機能の発達、幼児期の認知の特徴、心の理論とその発達プロセス			課題:ワーク提出 プロジェクター使用	講義
6	幼児期の発達② 幼児期の言語発達、自己の発達(自己認識の発達、自我の芽生えと反抗期、自己主張と自己抑制)、遊びの発達と意義			課題:ワーク提出 プロジェクター使用	講義
7	児童期の発達① 児童期の身体発達、認知の発達、言語の発達、発達と教育のかかわり			課題:ワーク提出 プロジェクター使用	講義
8	児童期の発達② 児童期の仲間関係の発達、学校への行こうと適応、道徳性、社会性の発達			課題:ワーク提出 プロジェクター使用	講義
9	児童期の発達③ 自己概念の変化と自己評価、児童期の学習意欲、発達障害、児童期の発達課題			課題:ワーク提出 プロジェクター使用	講義
10	青年期の発達① 青年期のはじまりと終わり 青年期の身体変化 第二次性徴とそれがおよぼす心理的影響、性役割、アイデンティティ			課題:ワーク提出 プロジェクター使用	講義
11	青年期の発達② アイデンティティ・ステータス、青年期の友人関係の発達とその意義 青年期の親子関係と心理的離乳			課題:ワーク提出 プロジェクター使用	講義
12	成人期の発達① 成人期とは 成人期の発達課題とライフイベント(親密性と結、世代性と出産育児) 育児ストレスと育児不安、児童虐待			課題:ワーク提出 プロジェクター使用	講義
13	成人期の発達② キャリアの発達、仕事と家庭の両立、成人期における自殺の問題、 中年期危機とアイデンティティ危機			課題:ワーク提出 プロジェクター使用	講義
14	老年期の発達 老年期とは 老年期の身体変化、老年期の認知機能の変化と認知症、知覚変化 心理・社会的な変化と発達課題			課題:ワーク提出 プロジェクター使用	講義
15	テスト				
教科書	なし				
参考書・資料等	必要に応じてプリント配布				
評価指標	出席状況、課題提出状況(量・内容等)、授業への積極的参加、筆記試験(100点)				
関連科目					
学生へのメッセージ	発達心理学は、皆さんの身近な出来事や課題にも応用できる学問です。授業で学んだことを自分自身や周囲に照らして学びを深めてください。				

基礎 分野					令和7年度	
授業科目名	文化人類学					
講師名	清水大地			実務経験	講師	
単位数	1 単位	授業回数	15 回	時間数	30 時間	
履修年度	2025 年度	学年	2 年次	履修期	前期	
学習目的	人間とは何か、人間にとって世界とは何かを理解し、人々と共に生きる意義を理解することができる。 文化によって培われた人と人とのつながりを広い視野を持って学習することができる。 学問的見地から信仰や世界観を養い、自己を取り巻く環境を認識することができる。					
到達目標	文化人類学的な考え方やものの見方を通じて、自文化の「当たり前」を疑い、異文化の「当たり前」を理解する姿勢を身につけること。					
学習スケジュール				課題・小テスト・使用機材等	授業方法	
1	文化人類学とは何か 文化人類学的なものの見方を理解する 文化相対主義について理解する				講義	
2	フィールドワークと民族誌 フィールドワークの方法論について理解する 民族誌と文化の表象に関する問題を理解する				講義	
3	文化の表象に関する問題について理解する				講義 映像①	
4	文化の表象に関する問題についてグループワークを通じて話し合う				講義 グループワーク①	
5	家族と生殖① 文化的に構築された性差について考える 家族や親子関係の多性性について考える				講義	
6	家族と生殖② 生殖医療の発達が親子関係に与える問題について文化人類学的視点から理解する				講義	
7	『生と死』について考える				講義 映像②	
8	『いのち』をコントロールすることについて我々の社会との比較を通じて議論する				講義 グループワーク②	
9	医療人類学 医療人類学における『病気』や『医療』に関する考え方を理解する				講義	
10	医療人類学における病気の捉え方を基に具体的な病気について考察する				講義 グループワーク③	
11	儀礼の分類 身の回りにある儀礼について人類学的視点から理解する 分類的思考についての理解を深める				講義	
12	死 人間の死の問題について文化人類学的視点から考える				講義	
13	宗教の多様性 宗教の多様性について、文化人類学的な視点から理解する				講義	
14	文化人類学の発想とは これまでの講義で特に重要なトピックを復習し、文化人類学の発想とは何かを総括する				講義	
15	テスト					
教科書	系統看護学講座 基礎分野 文化人類学 :医学書院					
参考書・資料等	必要に応じてプリント配布					
評価指標	出席状況、課題提出状況(量・内容等)、授業への積極的参加、筆記試験					
関連科目						
学生へのメッセージ	講義では毎回コメントシートを記入してもらいます。考えながら書く、書きながら考えることを訓練していきましょう。					

基礎 分野					令和 7 年度	
授業科目名	英語 I					
講師名	ゾルナー・スコット			実務経験	講師	
単位数	1 単位	授業回数	8 回	時間数	15 時間	
履修年度	2025 年度	学年	1 年次	履修期	前期	
学習目的	日常英会話の基礎を学び、看護の場における簡単な英会話の方法を学ぶ。 医療分野における総合的な英語力を身につける。					
到達目標						
学習スケジュール				課題・小テスト・使用機材等	授業方法	
1	授業の説明 医学英語 身体の部分①				講義	
2	医学英語 身体の部分②				講義	
3	医学英語 身体の部分③				講義	
4	医学英語 身体の部分④				講義	
5	医学英語 身体の部分⑤				講義	
6	医学英語 身体の部分⑥				講義	
7	医学英語 身体の部分⑦				講義	
8	医学英語 身体の部分⑧				講義	
教科書	クリスティーンのやさしい看護英会話 : 医学書院					
参考書・資料等						
評価指標	出席状況、課題提出状況(量・内容等)、授業への積極的参加、筆記試験					
関連科目						
学生への メッセージ						

基礎 分野					令和 7 年度	
授業科目名		英語Ⅱ				
講師名		大谷 純子			実務経験	講師
単位数		1 単位	授業回数	15 回	時間数	30 時間
履修年度		2025 年度	学年	1 年次	履修期	前期
学習目的		日常英会話の基礎を学び、看護の場における簡単な英会話の方法を学ぶ。				
到達目標		外国人患者に基本的な質問をすることができる。 また、簡単な質問に答えることができる。				
回数	日数	学習スケジュール			課題・小テスト・使用機材等	授業方法
1	1	オリエンテーション 英語学習の取り組み方と内容、授業の注意点、自己紹介			発表	講義
2	2	発音の基礎 子音、母音の音の出し方(口の形・舌の位置・息の出し方等) 【合同授業】				講義
3		数字(序数)・月・曜日 年(西暦)の言い方 【合同授業】			提出課題	講義
4	3	基本の文法① 現在形、過去形、未来形 【合同授業】				講義
5		基本の文法② 品詞・単語(複数)・冠詞等 【合同授業】			提出課題	講義
6	4	Unit 1(基本的な意思表示)Unit 2(仕事、家族、趣味など)			発表	講義
7	5	Unit 3(丁寧な表現) Unit4(初診の患者)			発表	講義
8	6	Unit 1 ～ Unit 4 復習後テスト			小テスト	講義
9	7	Unit 5(道順を教える - 診療科名)			提出課題	講義
10	8	Unit 6 症状① 人体外部			発表	講義
11	9	Unit 7 症状②			発表	講義
12	10	Unit 6, 7 復習後テスト			小テスト	講義
13	11	Unit 8 病歴			発表	講義
14	12	これまでの復習			小テスト	講義
15	13	映画を見て内容についての質問に答える 【合同授業】			課題提出	講義 映像鑑賞
教科書		クリスティーンのやさしい看護英会話 : 医学書院				
参考書・資料等						
評価指標		出席状況、課題提出、授業への積極的参加・発表、試験				
関連科目						
学生へのメッセージ		Believe in yourself and don't give up.				

基礎 分野					令和 7 年度	
授業科目名		国際医療コミュニケーション I				
講師名		大谷 純子		実務経験	講師	
単位数		1 単位	授業回数	15 回	時間数	30 時間
履修年度		2025 年度	学年	2 年次	履修期	通年
学習目的		看護師として必要な英会話の基礎を学ぶ。 医療分野における総合的な英会話を身につける。				
到達目標		外国人患者に基本的な医療英語を使い質問や指示をすることができる。 また、外国人患者の簡単な質問に答えることができる。				
回数	日数	学習スケジュール			課題・小テスト・使用機材等	授業方法
1	1	Review - 復習				講義・演習
2		Grammar - 文法 注)同日続きのクラスで 1, 2 回目の授業			課題提出	講義・演習
3	2	Chapter 1 Welcoming a patient			パソコン使用	講義・演習
4	3	Chapter 2 Talking Vital Signs			パソコン使用	講義・演習
5	4	Review Test No.1			小テスト①	講義・演習
6	5	Chapter 3 Pain Assessment			パソコン使用	講義・演習
7	6	Chapter 4 Feeling So sick !			パソコン使用	講義・演習
8	7	Review Test No.2			小テスト②	講義・演習
9	8	Chapter 5 Transferring a Patient			パソコン使用	講義・演習
10	9	Chapter 6 Medical Department			パソコン使用	講義・演習
11	10	Review Test No.3			小テスト③	講義・演習
12	11	Chapter 8 Personal Care			パソコン使用	講義・演習
13	12	Chapter 9 Giving Medication to a Patient			パソコン使用	講義・演習
14	13	Review Test No.4			小テスト④	講義・演習
15	14	Enjoy a movie! - 映画を楽しむ			パソコン使用 課題提出	講義・演習
教科書		Talking with your patients in English				
参考書・資料等						
評価指標		出席状況、課題提出状況 授業への積極的参加、筆記試験				
関連科目						
学生へのメッセージ		Focus on the class ! Your time is limited.				

基礎 分野					令和 7 年度
授業科目名	国際医療コミュニケーションⅡ				
講師名	ゾルナー・スコット			実務経験	講師
単位数	1 単位	授業回数	8 回	時間数	15 時間
履修年度	2025 年度	学年	3 年次	履修期	後期
学習目的	看護師として必要な英会話の基礎を学ぶ。				
到達目標					
学習スケジュール				課題・小テスト・使用機材等	授業方法
1	概要:看護師必須英語コミュニケーション (NEEC)				講義
2	基本的なフレーズ				講義
3	数字・単位・測定について				講義
4	時間				講義
5	体の部分				講義
6	病院得着と初期手続き				講義
7	健康診断・一般的な症状				講義
8	健康診断・一般的な症状				講義
教科書	クリスティーンのやさしい看護英会話 :医学書院				
参考書・資料等					
評価指標	出席状況、課題提出状況(量・内容等)、授業への積極的参加、筆記試験				
関連科目					
学生へのメッセージ					

基礎 分野					令和7年度
授業科目名	おもいラボⅠ ライフマネジメントプロジェクト				
講師名	鈴木 恵一			実務経験	専任教員
単位数	1 単位	授業回数	8 回	時間数	15 時間
履修年度	2025 年度	学年	1 年次	履修期	前期
学習目的	おもい・ねがいを実現するための思考を学ぶ 看護専門学校の1年生として生活における自立と自律、自分の生活マネージメント力を身につける				
到達目標	看護専門学校という新しい学びの場での学生生活の変化、新しい友人関係など大きく変化する中で、生活をスタートする看護学生1年生が、自律した学生生活を送れるようになるための自分たちの生活を改善する提案集を作る。				
学習スケジュール				課題・小テスト・使用機材等	授業方法
1	準備:ライフポートフォリオの作成				
2	ビジョン・ゴールの決定				
3	計画:ゴール達成に必要な情報や作業、時間配分の計画				
4	情報・解決策:ゴールに向かうために有効な根拠に基づいた情報を得る				
5	制作①				
6	制作②				
7	再構築:再構築の意図・方法・制限の説明				
8	成長確認				
教科書	系統看護学講座 専門分野 老年看護学 :医学書院 系統看護学講座 専門分野 老年看護 病態・疾病論 :医学書院				
参考書・資料等	根拠がわかる老年看護技術 :メヂカルフレンド社				
評価指標	出席状況、課題提出状況(量・内容等)、授業への積極的参加、筆記試験				
関連科目					
学生へのメッセージ					

基礎 分野				令和 7 年度	
授業科目名	おもいラボⅡ				
講師名	中村 優里			実務経験	専任教員
単位数	1 単位	授業回数	8 回	時間数	15 時間
履修年度	2025 年度	学年	1 年次	履修期	前期
学習目的	看護学生1年生が、好きを看護に活かすことにより、誰もが活躍する場を作り、やる気・意欲を維持し目標に向かうことができる。 「好き」×看護がくらしと健康にどう役立つのかを考えられる。				
到達目標	【専門知】 ・多様な看護師の仕事に関する知識 ・なりたい看護になるために必要な学びや体験をイメージできる力 ・現実社会の医療、福祉の動向への関心を持てるようになる 【普遍知】 ・ビジョンを描く力 ・自分の好きを考え意識する力 ・社会の最新情報を獲得する力 ・インタビュー力 ・ビジョンに向かい、より成長しようとする意欲				
学習スケジュール				課題・小テスト・使用機材等	授業方法
1	準備:ビジョンとゴール ・概要の説明 ・チーム編成			アクションシート1	講義 グループワーク
2	計画 ・チーム編成 ・チーム工程表 ・「好き」×看護とは			アクションシート2	講義 グループワーク
3	情報リサーチ ・「好き」と健康 ・「好き」×くらし			アクションシート3	講義 グループワーク
4	情報リサーチ ・「好き」弟子入り			アクションシート4・工程表	講義 グループワーク
5	情報と解決策 ・「好き」と看護がどのような場面でくらしと健康に役立つのか			企画書	講義 グループワーク
6	制作 ・今自分たちにできること			思考プロセスパネル	講義 グループワーク
7	制作 ・プレゼンテーション準備			思考プロセスパネル	講義 グループワーク
8	プレゼンテーション			思考プロセスパネル	講義 グループワーク
教科書	系統看護学講座 専門分野 基礎看護学 1 看護学概論 :医学書院 系統看護学講座 専門分野 基礎看護学 2 基礎看護技術Ⅰ :医学書院 系統看護学講座 専門分野 基礎看護学 3 基礎看護技術Ⅱ :医学書院 系統看護学講座 基礎分野 人間関係論 :医学書院 よくわかる看護職の倫理綱領 :照林社 看護に活かすカウンセリング :ナカニシヤ出版 具体例で学ぶコミュニケーション訓練看護ふれあい講座 :照林社 生活科学 :オーム社 他				
参考書・資料等	Google クラスルーム 「好き」のプロフェッショナルとして働く人(インタビューの対象として) Google マップ・アースによる関連施設の検索 Google scaiar				
評価指標	出席状況・学習態度・実践評価・提出物				
関連科目	看護学概論Ⅰ・Ⅱ、生活科学、人間関係論 他				
学生へのメッセージ	「なりたい自分」「なりたい看護師」になるために、各自の「好き」というおもしろいを大切にする、楽しい授業です！ 好きを極めて、好きを力に！！「なりたい自分」に成長していく自分自身を感じよう。 そして、フィールドワーク(弟子入り)を通して描いたキャリアデザインを表現してみましょう。スキ ♡ を極める！めいっぱい楽しみましょう！				